都道府県の取組事例 (R4年度)

1 都道府県が整備する新築建築物のZEB Ready相当化

● (No.1) ゼロカーボン交番・駐在所

〔長野県〕

● (No. 2) 県有建築物ZEB化設計指針の策定

〔静岡県〕

- 2 都道府県が新たに導入する公用車の原則電動車化
 - (No.3) 公用車のカーシェアリング

〔群馬県〕

3 都道府県有施設で使用する電力の再エネ電力への切り替え

● (No.4) 県有施設の再工ネ100%電力の導入

〔岩手県〕

● (No.5) 県有施設の再工ネ100%電力への切換え

〔神奈川県〕

全国知事会

脱炭素・地球温暖化対策本部

※その他の取組事例は、後日資料提供させていただきます。

ゼロカーボン交番・駐在所工事

都道府県名

長野県

No.

1

取組内容



阿南警察署大下条駐在所建設工事

「長野県ゼロカーボン戦略」に基づき、<u>交番・駐在所の整備にあたっては、建物のZEB・ZEH化</u>を行い、建物全体でエネルギー収支ゼロを目指しています。(R3:2箇所、R4:4箇所)

県有建築物ZEB化設計指針の策定

都道府県名

静岡県

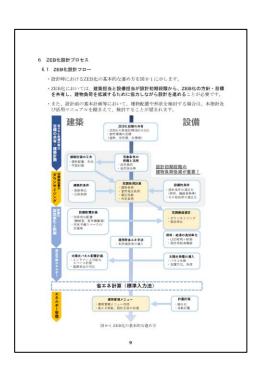
No.

2

取組内容







県有建築物ZEB化設計指針

令和5年3月、「ZEB化設計指針」及び「同指針活用マニュアル」を策定し、<u>今後新築する全ての</u> **建築物において、原則ZEB Ready**とすることとした。これまでは、個々の設計の中でZEB化を 検討していたが、<u>指針等を活用することにより、効率的・効果的にZEB化を進めることが可能</u>となる。

公用車のカーシェアリング

都道府県名

群馬県

No.

3

取組内容



県庁及び地域機関にEVを20台導入し、カーシェアリングの試行や再生可能エネルギーを活用した<u>充電に係るエネルギーマネジメント、災害時の電源活用など、EVを活用した様々な実証実験を行う。</u>(2023年夏以降に開始予定)

県有施設の再エネ100%電力の導入

都道府県名

岩手県

No.

4

取組内容



再エネ100%認証書贈呈式

- ・県有施設で使用する電力の再エネ100%に向けた取組
- ・久慈地区合同庁舎で使用する電気について、地域新電力の久慈地域エネルギー株式会社から、 **県企業局水力発電所で発電される再生可能エネルギー由来100%の電気の供給**を受けている。 (令和4年3月供給開始)

県有施設の再エネ100%電力への切換え

都道府県名

神奈川県

No.

5

取組内容

開始時期	施設名
令和3年4月	環境農政局出先施設(環境科学センター(気候変動適応センター))
令和3年10月	県立学校 (川崎高等学校)
令和4年4月	環境農政局出先機関(かながわ環境整備センター、自然環境保全センター、横浜農業合同庁舎、農業技術センター、農業技術センター三浦半島地区事務所、農業技術センター足柄地区事務所、かながわ農業アカデミー、畜産技術センター、水産技術センター、小田原水産合同庁舎) 県立学校(神奈川工業高等学校、神奈川総合高等学校)
令和5年4月	政策局出先機関(横須賀合同庁舎、厚木合同庁舎、平塚合同庁舎、小田原合同庁舎、かながわ県民センター、公文書館)
	総務局出先機関(本庁庁舎、横浜合同庁舎、神奈川自治会館、緑県税事務所、戸塚県税事務所、高相合同庁舎、藤沢合同庁舎、自動車税管理事務所、自動車税管理事務所相模駐在事務所、自動車税管理事務所湘南駐在事務所)
	環境農政局出先機関(三浦水産合同庁舎)
	産業労働局出先機関(東部総合職業技術校、西部総合職業技術校、産業技術短期大学校東キャンパス、神奈川障害者職業能力開発校、中小企業支援課小田原駐在事務所、計量検定所)
	教育局(県立図書館、金沢文庫、近代美術館葉山館、近代美術館鎌倉別館、総合教育センター、歴史博物館、生命の星・地球博物館、埋蔵文化財センター、文化遺産課収蔵センター)
	県立高校(全学校)

順次庁舎での再エネ利用を進め、2030年までに全県有施設での利用達成を目指す。 令和5年度は全県有施設で使用する電力のうち、再エネ電力の割合は約18%となる見込み。